

研究集会

文芸テキストから探る 古代社会の"こころ"

—時代とジャンルを越えて—

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「日本古代学研究の世界的拠点形成」
明治大学日本古代学研究所 主催

13:00～ ご挨拶

13:05～13:45【基調報告1】 上野 誠 (奈良大学文学部教授)
「歌と生活の古代学—そうじをめぐる—」

13:45～14:15【研究報告1】 山崎健司 (明治大学文学部教授)
「萬葉の歌ことばと古代人のこころ」

(14:15～14:30 休憩)

14:30～15:10【基調報告2】 荒木 浩 (国際日本文化研究センター教授)
「夢の表象と心の通い
—『源氏物語』からフキダシまでを考える—」

15:10～15:40【研究報告2】 湯浅幸代 (明治大学文学部准教授)
「『源氏物語』にみえる「心の鬼」考」

15:40～16:10【研究報告3】 牧野淳司 (明治大学文学部教授)
「仏事と物語・和歌—「御法」の文学の意義—」

(16:10～16:30 休憩)

16:30～17:30 コメント・全体討論

申込不要・参加費無料



2018年 3月11日(日)
(開場 12:00) 13:00～17:30

会場：明治大学 駿河台キャンパス：
グローバルフロント1階

グローバルホール (定員 160名)

※写真(3点とも同一資料)：うなみ松/源氏物語表白(当研究所蔵)